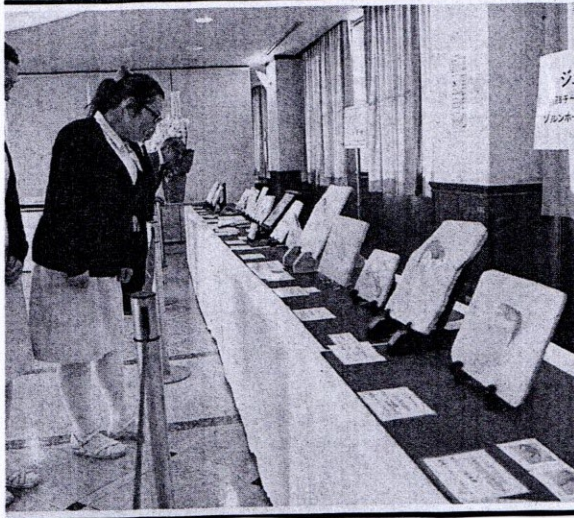


世界の化石 紹介

19日まで西の京病院

タコやエビなど100点



奈良 エビやイカなどの化石を集めた「世界の化石展」が奈良市六条町の西の京病院で開かれており、写真、19日まで、入場無料。
同病院の高比康臣理事長が25年ほど前から

収集するものをほぼ毎年、テーマを変えて展示。今年は甲殻類や軟体動物を中心に約100点が並び、化石として残りにくく希少とされるタコや、地面をほった跡が残るエビの化石などが見られる。高比理事長が展示について説明に立つこともあり、「生命の歴史を知り、新しい発見をしてほしい」と話した。
午前10時～午後5時
17日は午後1時から。19日午前10時半から高比理事長による説明会を予定。西の京病院(0742・35・1121)。
【大西咲子】

170(土) サナイ

西の京病院で「世界の化石展」

13～19日に展示

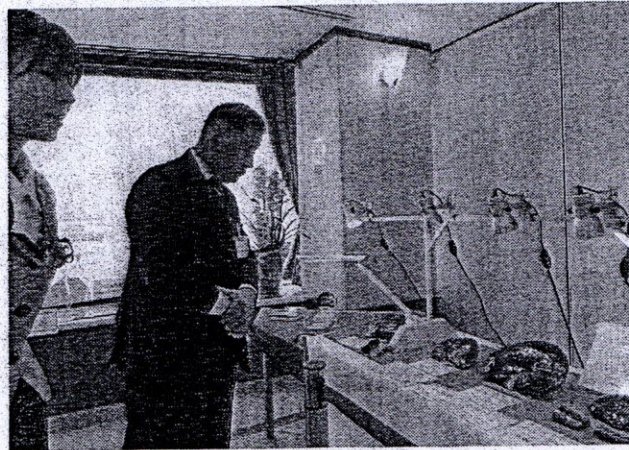
珍しい化石を集めた「第8回世界の化石展」化石は太古の記憶、神の彫刻である。13～19日、奈良市の西の京病院4階メビウスホールで開かれる。同病院の高比康臣理事長の化石コレクションのうち、オパール化して七色に輝く希少な「虹色アンモナイト」を含む50点以上が展示される。高比理事長は化石コレクションとして知られ、平成21年から定期的に開催。今回はエビやカニといった海洋生物の化石を中心に展示。一番古いものは約4億1千万年前のイカの祖先の化石で、ほかにも極めて珍しい化石が見られるという。
13、19日にはいずれも午前10時半から、高比理事長によるギャラリートーク(特別説明会)を予定している。入場無料。問い合わせは同病院地域医療連携センター(☎0742・35・2219)。

西の京病院

「珍しい化石」100点

19日まで タコやクラゲなど

(奈良新聞)



貴重な化石の数々が展示されている会場＝13日、奈良市六条町の西の京病院

珍しい動植物化石など、西の京病院の「世界の化石展」化石は太古の記憶、神の彫刻である。13日、奈良市六条町の同院4階メビウスホールで始まった。19日まで。

同院の高比康臣理事長が世界各地で収集したコレクションの一部、約100点を展示。8回目の今回は「世界の甲殻類、軟体類の化石展(エビ、カニ、イカ、タコ、クラゲ)」をテーマに開かれた。会場には、ジュラ紀のアミ類やシャコ類、

手長エビ、ザリガニの化石をはじめ、白亜紀のエビ類の化石などを展示。化石になりにくいタコやクラゲの化石といった貴重なものも数多い。
同院地域医療連携センター広報部の谷村光司部長は「ホールからの眺望と化石の両方を楽しんでもらえれば」と話している。
観覧無料。午前10時から午後5時開場(土・日曜は午後1時から)。19日午前10時半からは高比理事長の説明会もある。
問い合わせは同院、電話0742(35)2219。

170(土) 読売

しているエビ、カニ、虹色のアンモナイトなどの化石約50点。13、19日の午前10時半から、高比理事長が説明。同院地域医療連携センター(0742・35・2219)。

◆第8回世界の化石展 13～19日、奈良市六条町、西の京病院メビウスホール。高比康臣理事長が収集

